

★戦時中の学校はどんな様子だったの？ 飾りつけに見られる戦争の証（あかし）

1940年（昭和15年）～1943年頃（昭和18年）の写真でしょうか。学校の室内にかざられる旗をよく見れば、三国同盟（さんごくどうめい）や満州国（まんしゅうこく）、中華民国（ちゅうかみんこく）の国旗が見られます。三国同盟とは、日本、ドイツ、イタリアの3つの国が協力して戦争していくものです。満州国とは、今の中国北東部にあった国で、実質的には日本が治めていました。中華民国は「台湾」（たいわん）とよばれる地域の国です。当時は、日本が色々と支援（しえん）していました。旭日旗（きょくじつき）は、日の丸と太陽の光を重ね合わせてデザインされた日本の旗です。日本軍の軍旗（ぐんき＝軍のはた）としても用いられました。このように当時は学校においても、戦争を盛り上げるような飾りが見られました。

第2次大戦同盟国

